

## 2022年度 町田市総合防災訓練について（案）

<背景>被害が想定される多摩直下地震は2012年4月に策定・発表された「首都直下地震等による東京の被害想定」によると30年以内に70%の確率で発生すると予測されております。

2021年度は町田市で最大震度5弱を記録した地震の発生に加え、新型コロナウイルス感染症が猛威を奮いました。

<目的>過去の災害の例からも行政機関の力だけでは大規模災害を乗り越えることは極めて困難であるため、以下の訓練を実施することで、市民、関係機関と連携した「自助」、「共助」の防災意識の醸成や、関係機関による児童生徒等に対する体験学習等を通じた防災教育活動の充実を図ります。

## 災害への課題

## 重点項目1 避難施設開設運営訓練

## 【課題①】感染症対策

⇒新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難施設の開設

## 【課題②】災害時のライフライン確保

⇒避難施設での電源の確保や自主防災組織への電源確保補助

## 重点項目2 情報収集・伝達訓練

## 【課題③】自助・共助の普及啓発

⇒班長講習会や避難施設関係者連絡会での普及啓発や訓練の実施

## 【課題④】情報収集・伝達の見直し

⇒防災情報システムを活用した情報収集・伝達の見直し

## 重点項目3 屋外型避難用テント体験訓練

## 【課題⑤】屋外スペースの活用

⇒避難広場や屋外スペースを活用した避難方法の検討

## 【課題⑥】防災カレッジ

⇒関係機関と連携した年間を通じた教育プログラムの実施

## 重点項目4 要配慮者安否確認訓練

## 【課題⑦】要配慮者の搬送

⇒関係機関との要配慮者搬送にかかる協定の締結

## 【課題⑧】個別避難計画の作成

⇒災害対策基本法の改正にともなう個別避難計画の作成

## 訓練日時・会場・内容

日時	2022年10月16日（日）
時間	午前9時から午前10時30分まで

訓練想定	地震発生日時：2022年10月16日（日）午前9時00分
	震源：多摩地域直下（震源の深さ約20km）
	規模：マグニチュード7.3（町田市内の震度は6強を観測）
	被害状況：停電、断水、通信障害などのライフラインの被害をはじめ、建物倒壊や火災により多くの人的被害が発生

## 1 メイン会場 【鶴川地区】

(1)	震災演習	鶴川第三小学校	市、消防団、消防署、警察署、自衛隊を中心とした関係機関による救助活動訓練及び医療関係団体による医療活動に係る訓練
(2)	避難施設開設運営訓練 重点項目1	鶴川第三小学校	自主防災組織、避難施設指定職員、学校関係者による、感染症対策を講じた避難施設開設訓練 ※「非常用発電機」や「屋外型避難用テント」などの活用
(3)	防災フェア	鶴川第二中学校 町田 GION スタジアム	防災カレッジに基づく講座の実施及び関係機関による展示・体験コーナーの設置
(4)	情報収集・伝達訓練 重点項目2	町田市庁舎 鶴川地区避難施設 鶴川市民センター	避難施設指定職員から寄せられる情報の集約及び情報伝達、また、各防災関係機関への支援要請に係る訓練
(5)	二次避難施設開設・要配慮者搬送訓練 要配慮者安否確認訓練 重点項目4	高齢者施設 障がい者施設	避難施設（鶴川第三小学校）と二次避難施設の相互連携による要配慮者の搬送訓練
		地区社協	避難ができない要配慮者を想定した地域団体（地区社協）との連携による安否確認・避難支援訓練

## 2 サブ会場

(1)	災害対策本部訓練	町田市庁舎	市各対策部による災害活動訓練
(2)	避難施設開設運営訓練	鶴川地区避難施設	自主防災組織、市避難施設指定職員、学校教職員等による、大規模災害時における避難施設の開設運営訓練、及び避難施設から市災害対策本部への情報伝達訓練

## 3 サテライト訓練（別日程）

(1)	屋外型避難用テント体験訓練 重点項目3	町田 GION スタジアム	町田ゼルビアと連携した屋外テントを使った宿泊・休憩体験を実施し、防災教育の充実を図る体験型訓練
-----	------------------------	---------------	---